

平成30年度「森の名手・名人」認定証伝達式 次第

日時：平成30年9月27日（木）午後1時30分から
場所：奈良県高市郡高取町
「奈良県森林技術センター」研修館

1. 開会
2. 挨拶
3. 祝辞
4. 本年度認定者紹介
5. 認定証伝達・記念品贈呈
6. 閉会

公益財団法人奈良県緑化推進協会 〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6 なら土連会館内 TEL:0742(24)0200 FAX:0742(24)2110
--

平成30年度「森の名手・名人」認定者ご紹介

公益社団法人国土緑化推進機構では、「もりのくに・にっぽん」運動として、平成14年度から「森の名手・名人」を毎年、全国から公募・選定してきました。

「森の名手・名人」は、森林に関わる分野において優れた技や知見をもってその業を極め、生活者の模範となっている達人のことです。

奈良県では公益財団法人奈良県緑化推進協会が県内から公募して推薦し、これまでに34名の方が認定されています。この認定制度の最終年度となった本年度は、6名の方が新たに認定されました。

【加工部門】

透かし彫り工芸師 やまぐち てつお 山口 哲雄 さん (黒滝村在住)

約60年間林業に従事した経験を活かし、約25年前に知人の手伝いをきっかけに「透かし彫り工芸」を始められました。透かし彫りは使用する柁目木材(端材の有効活用)の選定が重要とされ、切り抜き作業では繊細な技術が必要とされます。木目を透かす際には、長年の経験で細かな絵柄も手際よく彫り製作されておられます。

檜皮葺 こにし しげとし 小西 繁俊 さん (吉野町在住)

神社仏閣の屋根の檜皮葺の材料として、檜皮剥ぎから葺きまでを全て行っておられます。特に檜皮に関しては良く吟味を行い、耐久性がある良い質のものを吟味しているそうです。主に社寺仏閣の桧から採取する為、木を枯らさないように、同じ木から8~10年のサイクルで採取します。1坪分の檜皮を作るのに10日ほどかかる為、極めて根気のいる作業です。

三宝製作 よしたに よしひろ 吉谷 良浩 さん (下市町在住)

吉谷木工所は明治43年に創業され、現在6代目の良浩氏まで、三宝製造の伝統技術が脈々と引き継がれている吉野でも数少ない木工所です。「吉野ひのき」特有の粘りを活かした特殊な「曲げ」の技術を持ち、今日では自身の息子へ技術継承を行い、木工の町下市町の明かりを消さないことを念頭に後継者育成に取り組んでおられます。

【森の伝承・文化部門】

紙漉き うえ さだお 植 貞男 さん (吉野町在住)

和紙の原料である「楮(コウゾ)」作りから自ら手がけている和紙漉き職人です。「良い和紙は良い楮から」と、特に楮作りには手間暇をかけておられます。下刈り、芽つみ、間引き等を行い、徐々に節のない良い幹に育てます。出来上がった和紙は「宇陀紙」として高く評価されており、掛け軸の表装用に使用される為、美しく丈夫で長持ちする紙に仕上げられています。

【森の恵み部門】

シイタケ栽培 いのうえ じゅんいち 井上 順一 さん (吉野町在住)

長年、安心安全の国産原木にこだわったシイタケ栽培を行い、優良なシイタケの生産者です。シイタケ栽培にまつわる様々な課題解決の為に、2001年に「国産原木シイタケ生産者の会」を設立。低価格で販売できる菌床栽培が市場に増えた為、農林水産大臣に栽培方法の表示化を陳情し、実現されました。

【森づくり部門】

そま師 にしたに きよし 西谷 喜代志 さん (黒滝村在住)

林業における作業の内容は多様ですが、植栽から伐木、搬出に至るまで、総じて経験が豊富です。100年を超える大径木を思ったところに倒せる技術には定評があり、その大径木は神社仏閣等で使用されています。現在は30才代の若手の作業員や地域おこし協力隊員に安全な作業方法を教えるかたわら、自分も率先して作業に加わっておられます。

奈良県 「森の名手・名人」 一覧

(敬称略)

認定年度	部門	内容等	氏名
平成 14 年度	森づくり	種採り	杉本 充 (橿原市)
平成 14 年度	森づくり	木取り	片岡 晃 (桜井市)
平成 15 年度	森の伝承・文化	野鳥判定	小船 武司 (奈良市)
平成 16 年度	加工等	振子	上西 康公 (橿原市)
平成 16 年度	森づくり	大径木の伐採・造材	中平 寛司 (川上村)
平成 17 年度	森の恵み	木の葉笛吹奏	吉野 武文 (野迫川村)
平成 17 年度	加工	神酒口の製造	大川 文子 (下市町)
平成 17 年度	森づくり	伐木・造材	柳澤 勝 (菟田野町)
平成 18 年度	加工	大塔坪杓子	新子 薫 (五條市)
平成 18 年度	森づくり	樽丸造り	栗山 晴昇 (吉野町)
平成 18 年度	加工	杉桶製造	松谷 一二三 (下市町)
平成 18 年度	森づくり	大径木の伐採造材出材	福本 雅文 (川上村)
平成 18 年度	森の恵み	キノコ栽培	川崎 昌助 (野迫川村)
平成 19 年度	森づくり	磨丸太生産	上田 善嗣 (吉野町)
平成 19 年度	加工	ケヤキ指物師	山口 勝 (黒滝村)
平成 20 年度	加工	竹細工	澤井 功 (五條市)
平成 21 年度	森の恵み	山野草料理人	前田 忠慶 (御所市)
平成 21 年度	森の伝承・文化	森林ガイド	野崎 和生 (下北山村)
平成 21 年度	森づくり	林業、森と水の源流館長	辻谷 達雄 (川上村)
平成 22 年度	森づくり	筏師	深瀬 常保 (十津川村)
平成 22 年度	森づくり	作業道づくり・機械改良	岡橋 清元 (西宮市)
平成 23 年度	森づくり	そま師	中 秀作 (十津川村)
平成 23 年度	森づくり	造林手	竹内 信市 (東吉野村)
平成 24 年度	森づくり	そま師・運搬集材	津本 修 (宇陀市)
平成 24 年度	加工	野鍛冶	田上 昭三 (十津川村)
平成 24 年度	加工	磨き丸太・文具生産	森本 英雄 (桜井市)
平成 24 年度	森の恵み	しいたけ栽培	車谷 年秋 (吉野町)
平成 25 年度	加工	振子 (ふりこ)	泉岡 邦彦 (桜井市)
平成 25 年度	森づくり	造林手	吉田 光之輔 (下市町)
平成 25 年度	森の恵み	シイタケ栽培	上田 克彦 (天理市)
平成 26 年度	加工	竹細工	浦嶋 正幸 (山添村)
平成 27 年度	森づくり	大径木の伐採・造林	鍵 敬二 (川上村)
平成 27 年度	森の伝承・文化	手漉き和紙	福西 正行 (吉野町)
平成 29 年度	森の伝承・文化	手漉き和紙	昆布 尊男 (吉野町)
平成 30 年度	加工	透かし彫り工芸師	山口 哲雄 (黒滝村)
平成 30 年度	加工	檜皮葺	小西 繁俊 (吉野町)
平成 30 年度	加工	三宝製作	吉谷 良浩 (下市町)
平成 30 年度	森の伝承・文化	紙漉き	植 貞男 (吉野町)
平成 30 年度	森の恵み	シイタケ栽培	井上 順一 (吉野町)
平成 30 年度	森づくり	そま師	西谷 喜代志 (黒滝村)